



Tabula rasa

タブラ

ラサ



夏季号

(図書館学生新聞)

初夏の候、じりじりと肌をさすかのような暑さの到来ですが皆様いかが御過ごしでしょうか。

さて「図書館新聞」改め「タブラ・ラサ」となり初めての刊行となります。前回の新聞よりも、より良くしようと、図書館サポーター、司書長様を始めとしさまざまな方のお力添えを持って今回の夏号の刊行に至りました。

つきましては、図書館への第一歩、または皆様の興味、関心として誌面を読んでいただければ幸いです。

(梅光学院大学図書館サポーター 一同)

新着図書 (一部抜粋)

- ・『ネバーランド』
恩田陸 著 集英社
- ・『姑獲鳥の夏』～『塗仏の宴』
京極夏彦 著 講談社
- ・『麦ふみクーツェ』
いしいしんじ 著 新潮社
- ・『外来語と現代社会』
国立国語研究所 編 国立国語研究所
- ・『闇の彼方へ』
スティーヴン・キング 著 新潮社
- ・『日本の軍縮・不拡散外交』
外務省軍縮不拡散・科学部 編集
- ・『農民芸術概論；手帳；ノートほか』
宮沢賢治 著 筑摩書房
- ・『社会福祉関連の制度とサービス』
ホームヘルパー養成研修テキスト作成委員会 編集 長寿社会開発センター
- ・『中世文学の諸相とその時代』
村上美登志 著 和泉書院
- ・『魂の重さの量り方』
レン・フィッシャー 著 新潮社

貸出ランキング (一部抜粋)

1. 『運命の息子』
ダレン・シャン 著 小学館
1. 『現代中国：グローバル化のなかで』
興梠一郎 著 岩波書店
1. 『宮沢賢治明滅する春と修羅：心象スケッチという通路』
杉浦静 著 蒼丘書林
1. 『志賀直哉研究』
重友毅 著 笠間書院
1. 『志賀直哉の文学』
須藤松雄 著 桜楓社
1. 『チョコレート工場の秘密』
ロアルド・ダール 著 評論社
7. 『「春と修羅」研究』
天沢退二郎 編 學藝書林
7. 『なまくら』
吉橋通夫 著 講談社
7. 『死霊の売人』
カイ・マイヤー 著 あすなろ書房
7. 『博士の愛した数式』
小川洋子 著 新潮社

(同率順位のためこのような結果となりました)

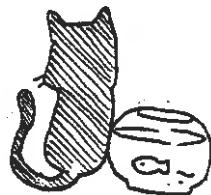
(平成18年 6月)

図書館の新しいニュースがいくつかあるので、紹介していきたいと思います。
主なニュースは、

- ・ひこ・田中先生によるオススメ本
- ・希望図書
- ・整理中の図書について
- ・学問のススメ 2006
- ・中原中也 展示会
- ・大学図書館長交代のお知らせ

です。

なお、前回同様生徒によるオススメ図書の紹介も記載させていただきます。



ひこ・田中先生のオススメ本 ～ 絵本やライトノベルが急増！ ～

本学教授、ひこ・田中先生が沢山の図書を寄贈してくださいました。

絵本、児童書、ライトノベルまで色々な図書が新着図書の棚に置かれています。ハードカバー等は先生が書評を書かれたものが主です。また、文庫本は先生が良いと思って選び、購入されたものです。映画でもあった『下妻物語』、『姑獲鳥の夏』などや『十二国記』、『西の善き魔女』などのファンタジーも多数あります。ぜひ一度眺めてみてはいかがでしょうか。

希望図書 ～ あなたの好きな本、読みたい本の紹介を ～

大学図書館にあったらいいと思う本、みんなに読んで欲しいと思う本、とにかく大学図書館に入れて欲しいと思う本がありましたら、図書館に置かれている「希望図書記入用紙」に然るべき情報を明記して、傍に設置されております BOX へ投函してください。用紙のある場所は図書館に入ってまっすぐ進んだ、目録の棚の上です。

以前までの用紙とはいくらか変わり、本の PR を書く欄ができました。何も硬いことを記入しなければならぬというわけではありません。ただその本について良いところ、見所などを 思いのままに お書きください。

なお、希望図書の受入の結果はホワイトボードに貼り出されます。

ぜひとも、心を動かす推薦文をお寄せください。

整理中の図書について ～ 封印されていた本があなたの手に…… ～

皆さんご存知でしょうが、大学図書館の各階に網が張ってあります。その中に置かれていた 整理中の図書が、6 月いっぱい貸出可能になりました。今まで封印されていた和書 8 万冊がようやく陽の目を浴びることとなったのです。

といっても最低限、貸出できるように作業を進められたので、貸出可能な図書は和書に限ります。しかしそれでも多くの図書が新しく手に取ることができるようになりました。

学問のススメ 2006 ～ 先生のオススメ図書を見てみよう ～

1 年生のみなさんは記憶に新しいでしょうが、春、教養セミナーで「学問のススメ 2006」という冊子が配られました。2, 3, 4 年生の方々もいくらかは覚えていらっしゃるでしょう。

それに記載されていた、先生方のオススメ図書 が図書館 1 階、柱時計近くに置かれることになりました。

先生方が選出された図書諸々を手にとってみてはどうでしょうか。きっといつか何かの役に立つ事があるでしょう。

中原中也賞◆受賞詩集展 ～ 諸々の展示物、見て損無し！ ～

中原中也賞の受賞展示会が本学図書館にて開催されます。

開催期間は 2006 年 7 月 8 日 (土曜日) から 9 月 30 日 (土曜日) の約 2 ヶ月間で、中原中也賞の受賞詩集とその英訳や、先年度応募の 10 代、20 代の詩集の展示などがあります。また、選考委員の処女詩集や著作が展示・解説してあります。選考委員として、本学教授である北川透先生、佐藤泰正先生がいらっしゃいます。

場所は図書館 1 階閲覧室、図書館に入っすぐのところです。

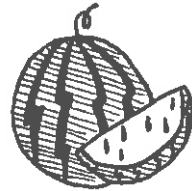
どうぞ時間のある方、興味のある方は挙って見にいらしてください。



大学図書館長交代

今年度から本学図書館長が 増子和男先生からひこ・田中先生に交代されました。以前にも連絡はいくつかありましたが、改めてお知らせいたします。

おすすめ図書



小野不由美 著 **ピクアツ!**

『十二国記』シリーズ
(講談社)

突然現れたケイキと名乗る男に連れてこられたのは、海に映る月の光の向こう側、地図に無い国。帰るあての無い陽子は、信じられる者もなく孤独な戦いを強いられる(『月の影 影の海』)。十二国を治める王と麒麟、そして民の物語。

(日本文学科 1年 馬場沙緒里)

時雨沢恵一 著

『キノの旅』シリーズ
(電撃文庫)

一風変わった国を旅したいと思いませんか?この本を読めば、様々な国を旅した気分になります(たぶん)!

短編集なので、普段は本を読まない人にも大丈夫。ひこ・田中先生のコーナーにありますよ(^o^)

(日本文学科 1年 西山友梨)

ロアルド・ダール 著

『チョコレート工場の秘密』
(評論社)

映画チャーリーとチョコレート工場でジョニー・デップが主演したことでお馴染み、貧乏な少年チャーリーが一枚の板チョコで幸運を掴み取るサクセスストーリー!巨匠クエンティン・ブレイクの手掛けた衝撃のイラストは必見です!

(日本文学科 1年 横山尚江)

荻原規子 著

『空色勾玉』
(福武書店)

古代日本を舞台にしたファンタジー。「白

鳥異伝」、「薄紅天女」と共に勾玉三部作と呼ばれています!日本神話を基にして書いてあるので、これを機に神話を学んでもいいかもしれませんね。

(日本文学科 1年 西山友梨)

田中達也 著

『ヤマケイポケットガイド25 雲・空』
(山と溪谷社)

普段、私たちの日常にあってもなかなか視界には入ってはこない雲や空。何うときは、今日の天気はどないや?なんだか雨が降りそうやな、という時くらいのような気がします。しかし、そんな雲や空にも様々な表情、名前があるのですよ。手にすっぽりと収まるサイズの小さな図鑑。写真も大きく見やすいのが特徴!小さな雲・空を手にとめて、ちょっと空を仰ぎ見てみませんか?

(日本文学科 3年 山川由紀子)

實吉達郎 著

『中国の鬼神 天地神人鬼』
(新紀元社)

中国に伝わる人外の生き物、神や妖怪、また、人でありながらも人間よりも遥かに超越した力を持つ者などについて描かれた一冊。

第一部では神仙、魔族、神、魔人、超人などについて事細かに、第二部では動物、虫などの妖怪のようなものについて詳細に描かれています。

どうぞ興味のある方は一度手にとって覗いてみられるのも一興でしょう。

(日本文学科 3年 榎良千尋)

●今回の「オススメ図書」の一冊を熱く熱く語ってもらいました。

ピックアップ! 『十二国記』シリーズ 著:小野不由美 講談社

海に映る月の光の向こう側に、十二の国が存在する異世界があった。そこでは十二の麒麟によって選ばれた、十二の王がそれぞれの国を治めている。古代中国を思わせる文化をもったその異世界では、麒麟をはじめ伝説上に存在するような異形の生物「妖魔」や、人間と獣の姿を使い分けることができる「半獣」が生きている。私たちの常識が通じない異世界で、それでも人々は、私たちと同じように、自らの希望を捜し求め、道を切り開くために苦しみ、それぞれの人生の中で戦っていた。

NHK 教育テレビでアニメ化もされた、小野不由美のファンタジー作品。以下は簡単なあらすじを紹介しています。

孤独な戦いの末、王となった陽子(『月の影 影の海』)。しかし、この世界のこと、民のこと、王として自分が何をすべきなのかわからずに、苦悩する彼女の姿がそこにはあった。陽子の新たな戦いが始まる。(『風の万里 黎明の空』)

陽子の治める国「慶」から海を隔てた隣国「戴」には、かつて、まだ幼くも強い力を秘めた黒麒麟と、いずれは賢帝となるだろうといわれる王がいた(『風の家 迷宮の岸』)。しかし、反乱を鎮圧に向かった王は戻らず、その隙に命を狙われた幼き麒麟も行方を眩ましてしまう。荒れ果てていく国を救うため、戴国將軍李斎は景王陽子に助けを求める。そして今、延王尚隆と延麒六太(『東の海神 西の滄海』)を中心に、諸国の王と麒麟が「慶」に集う。(『黄昏の岸 暁の天』)

その他:『図南の翼』『華胥の夢』
(『魔性の子』新潮文庫)

『十二国記』シリーズは図書館1階の図書館サポーターコーナーにありますので、興味をもたれた方は是非借りてみてください。

馬場 沙緒里

図書館サポーター募集

学生と図書館とで協力し合って、よりよい図書館をつくっていきませんか?

本を読むのが好きな人、図書館に対して意見のある人、図書館が好きな人、本と触れ合うのが好きな人、図書館サポーターはただいま参加者を募集中です。

少しでも興味のある方は、ひこ・田中研究室までご連絡ください。

図書館サポーターの集まりは毎月第2、第4水曜日 昼休みに東館301で行っております。

夏休みの利用について

「夏休み貸出のお知らせ」

期間：8/2（水）～ 10/10（火）最終返却日

冊数：学部生5冊まで、大学院生10冊まで

期間中ずっと借りていてもいいですし、開館日に返却して5冊を入れ替えてもいいです。

夏休みに新着図書が増えている可能性大です。

「夏休み開館日のお知らせ」

開館日：月～土 9：30～17：00（貸出・返却は16：50まで）

※日曜日・祝祭日は閉館です。また、館内整理のために休館することがありますので、HPで確認するか、または電話でお問い合わせしてください。

メールでは受け付けていません。

梅光学院HP <http://www.baiko.ac.jp>

図書館直通 TEL 0832-27-1040

希望図書記入用紙

本の題名	著者	出版社	発行年	価格	請求日	本のPRをしてください	印